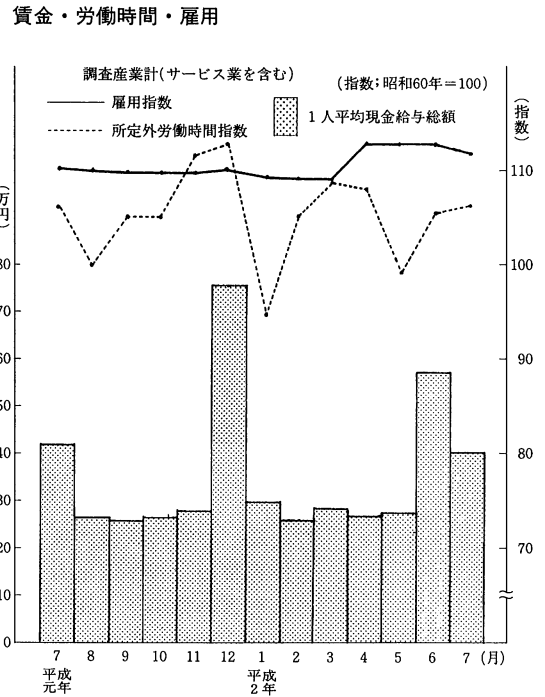
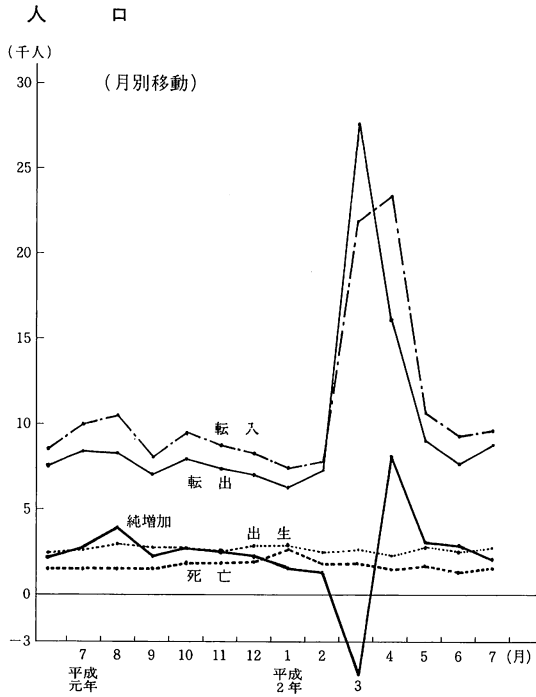
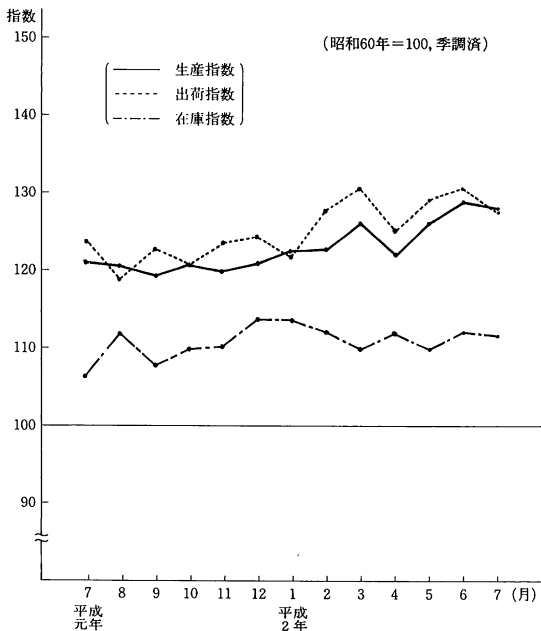


● 今月の主な動き

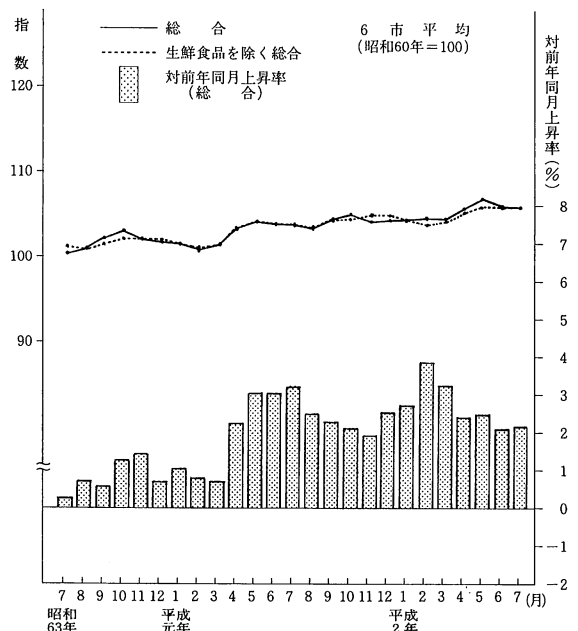
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■人口(8月1日)

本県の人口は、7月中に1,962人増加し、8月1日現在で2,845,950人(男1,419,012人,女1,426,938人)となった。内訳は、自然動態で1,009人(出生2,506人,死亡1,497人)増加し、社会動態で953人(転入9,592人,転出8,639人)増加した。対前年同月と比べると25,598人(0.91%)の増加

である。

市町村別では、増加が13市50町村,減少が7市18町村である。

世帯数についても7月中に907世帯増加し830,116世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(7月)

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、本月が賞与等の支給月であるため、調査産業計で403,268円,前年同月比1.3%減(前月は7.0%増)と前月に比べて大きく変動している。このうちきまって支給する給与は269,578円,前年同月比4.6%増(前月は4.9%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は238,116円で,前年同月比4.7%増(前月は5.0%増)であり,超過労働給与は31,462円で,前年同月比4.1%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比3.8%減であった。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で180.6時間,前年同月比1.1%減(前月は0.2%減)であった。このうち所定内労働時間は161.6時間で,前年同月比1.3%減(前月は0.3%減)であった。

また、所定外労働時間は19.0時間,前年同月比は0.5%増(前月はもちあい)であった。

3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.2%増(前月は1.4%増)であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(7月分)

本県における平成2年7月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が128.1,出荷が127.6,在庫が111.2で,前月比は、生産が△0.6%の低下,出荷が△2.2%の低下,在庫が△0.6%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が6.3%の上昇,出荷が3.4%の上昇,在庫が4.8%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、輸送機械工業,金属製品工業,鉱業等が上昇し,電気機械工業,窯業・土石製品工業,プラスチック製品工業等が低下した。出荷では、

鉱業,化学工業,その他工業等が上昇し,一般機械工業,電気機械工業,非鉄金属工業等が低下した。在庫では、一般機械工業,化学工業,非鉄金属工業等が上昇し,鉱業,石油・石炭製品工業,輸送機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、鉱工業用生産財,非耐久消費財が上昇し,耐久消費財,資本財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財,建設財等が上昇し,その他用生産財,耐久消費財等が低下した。在庫では、資本財,耐久消費財が上昇し,その他用生産財,非耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数(7月)

平成2年7月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.7(昭和60年=100)となり,前月比△0.1%の下落,前年同月比2.3%の上昇となった。

今月上がった主な費目……設備修繕・維持2.1%,油脂・調味料1.9%,魚介類1.2%,理美容サービス1.2%

今月下がった主な費目……果物△6.9%,衣料△3.0%,野菜・海藻△2.6%,シャツ・下着△1.6%

生鮮食品を除く総合は105.7となり,前月と変わらず,前年同月比2.2%上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.7	△0.1	2.3	保健医療	106.0	0.0	0.2
食 料	104.1	△0.3	1.8	交通通信	102.8	0.3	0.9
住 居	116.8	1.1	4.5	教 育	124.5	0.0	6.6
光熱・水道	89.9	0.2	2.9	教養娯楽	108.9	0.1	2.6
家具・家事用品	100.1	0.2	0.0	諸 雑 費	106.2	0.3	1.2
被服及び履物	109.6	△1.8	4.6	生鮮食品と総総合	105.7	0.0	2.2